



たじみ監督署 安全衛生だより

平成23年の労働災害発生状況

平成23年の休業4日以上労働災害による死傷者数は、2月末現在の速報値で265人となっており、昨年同期に比べ17人の減少をみっていますが、残念ながら死亡災害により2人の尊い命が失われています。

業種別で見ますと、建設業が21件(50.0%)と大幅に減少している一方、製造業が11件(11.8%)、運送業については11件(52.4%)と昨年より大幅に増加しています。

このような状況で運輸業の労働災害について詳細をみてみますと、交通事故による労働災害等運送業者にとって避けては通れないものよりも、荷の積み卸し中に荷台より飛び降りて負傷する、荷とともに墜落するなど、多くが積み卸し中に発生しています。

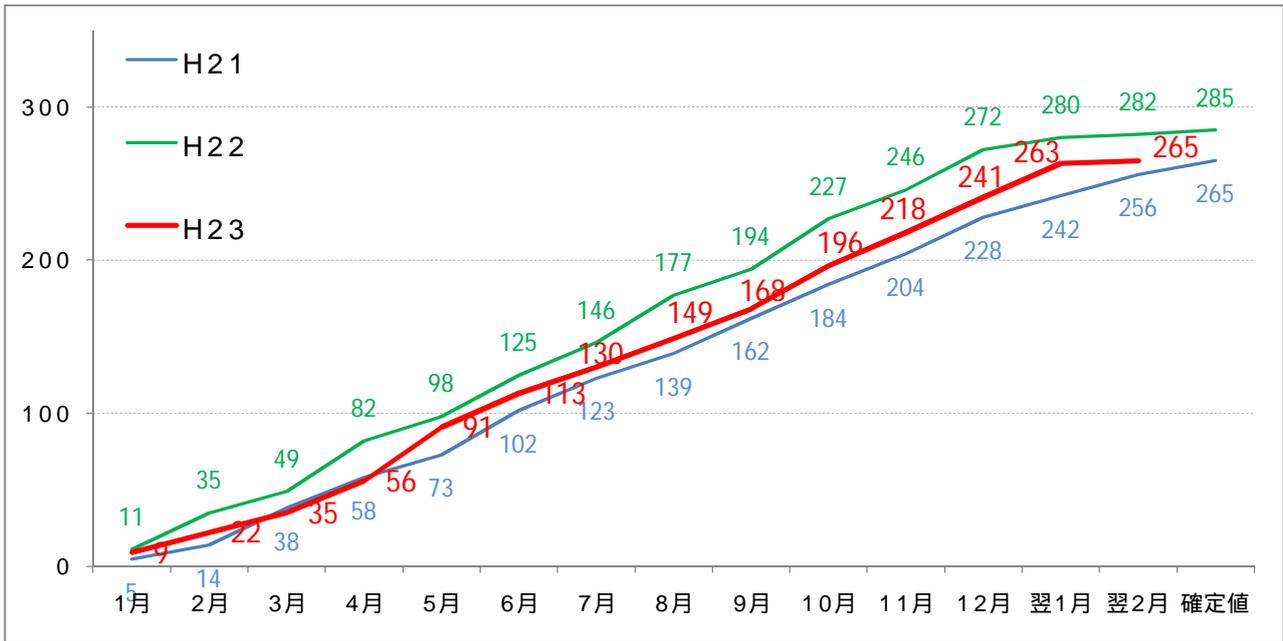
死亡災害に至ってはいないものの、重量の大きい荷と共に荷台から落ちるなど一歩間違えば重大な災害に結びつくようなものが多く発生しており、安全な作業にこそ心がけ作業を行いましょう。

	平成23年	平成22年	対前年 増減数	対前年 増減率	構成比	(参考) 平成21年
全 産 業	265 (2)	282 (6)	-17	-6.0%	100%	242 (3)
製 造 業	104 (1)	93 (2)	11	11.8%	39.2%	82 (1)
うちパルプ・紙等	3	7 (1)	-4	-57.1%	1.1%	8
うち窯業土石	32 (1)	36	-4	-11.1%	12.1%	37 (1)
うち機械金属	35	23 (1)	12	52.2%	13.2%	19
建 設 業	21 (1)	42 (3)	-21	-50.0%	7.9%	25
運 輸 業	32	21	11	52.4%	12.1%	26 (1)
卸 ・ 小 売 業	20	28	-8	-28.6%	7.5%	37
通 信 業	11	16 (1)	-5	-31.3%	4.2%	4
ゴ ル フ 場	22	25	-3	-12.0%	8.3%	26 (1)
上 記 以 外	55	57	-2	-3.5%	20.8%	42

本統計は、平成24年2月末日までに労働者死傷病報告により報告のあった休業4日以上死傷災害を集計したもので、かっこ内の数は死亡災害を内数で示したものです。

構成比は小数第2位を四捨五入しているため、各業種の合計が100%にならない場合があります。

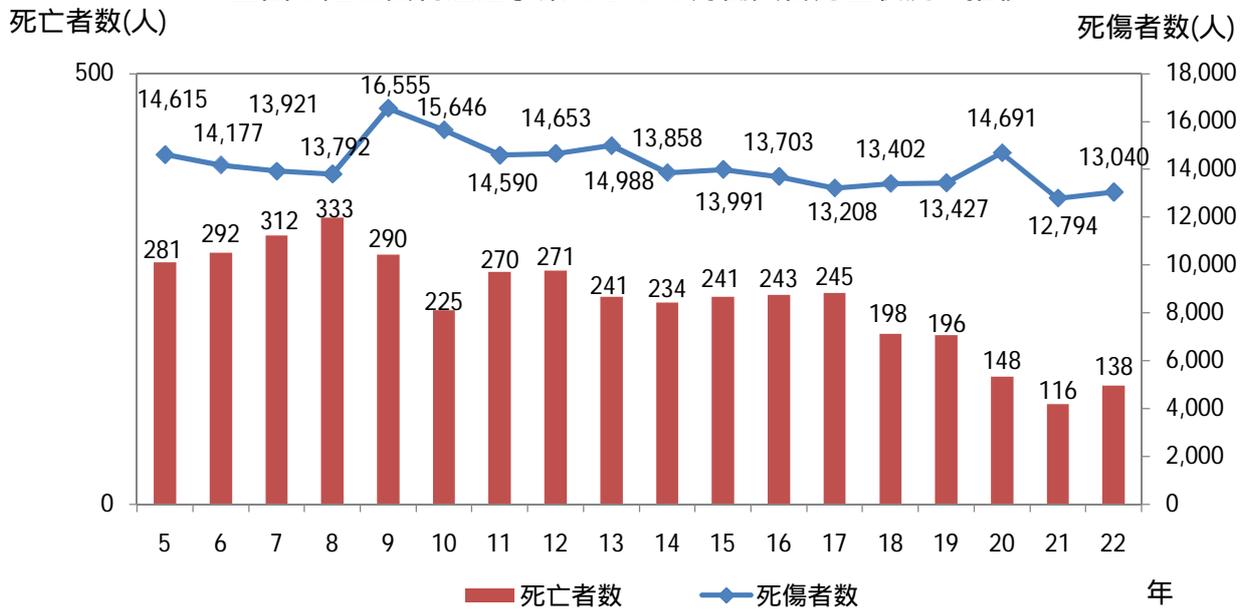
災害発生状況の月別推移



陸運業における労働災害等の現状

(荷役作業時の労働災害が多発しています)

全国の陸上貨物運送事業にかかる労働災害発生状況の推移



労災保険給付データより

事故の型別死傷者数の割合は、

陸上貨物運送事業における死亡災害を事故の型別にみますと「交通事故」が最も多く、全体の6割を占めています。

一方、休業4日以上を事故の型別にみますと、「交通事故」は全体の1割程度であり、「墜落・転落」が全体の約3割と最も多くなっています。

起因物別死傷者数の割合は、

「墜落・転落」による死傷者数を起因物別にみますと、トラック、フォークリフト等の「動力運搬機」によるものの割合が多くなっています。